



## 3学期スタート！さらなる成長を目指しステップアップ…

「おはようございます。」という子ども達の元気なあいさつで、3学期がスタートしました。冬休み中も子ども達の健康・安全にご配慮いただいた保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。

3学期は、1年間の学習や生活を振り返り、成長を実感する学期です。自分の成長やまわりの成長、そして、その成長を支えてくださった多くの方々の存在に気づき、感謝の行動をとる「かしこさとたくましさ」のある子に育ってほしいと思っています。

さて、2学期末に猛威を奮ったインフルエンザも落ち着きを見せていますが、全国的には新型コロナウイルスの感染者数が若干増加傾向にあるようです。

「学校が始まると感染者数が増える」と言われますが、3学期も基本的な感染対策の徹底を継続しながら、学びを止めないよう努力してまいります。引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 2026 年は ひのえうま 「丙午」



今年は、十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わさった「丙午（ひのえうま）」の年です。

「丙」は、「太陽のような明るさ」「情熱」「決断」を象徴し、「午」は躍動する馬のように、気力が高まることを意味しています。

このことから、「丙午」の年は、情熱や勢いが非常に高まり、大きな飛躍のチャンスが訪れる年であると言われています。また、新しいことや諦めかけていたことに挑戦すると良い結果に繋がる年とも言われています。

## 3学期に一人一人が意識して頑張してほしいこと…

3学期の始業式では、1年のまとめとなる姿をしっかりとイメージし、そのゴールに向かって努力すること、また、1年のまとめとして3学期に一人一人が意識して頑張してほしいことを話しました。

### 1 「友だちを大切にする」（感謝の気持ちを込めて…）

友だちがいるおかげで、こんなよいことがあるのです。

- 心が元気になる。
- 安心感を与えてくれる。
- 考えを深めたり、広げたりすることができる。
- 力を合わせてできることが増える。
- 人との関わり方の大切なことを学ぶ。

学校という集団生活の場で、人間関係を構築する基礎を学ぶ上で、友だちの存在は大きいものです。  
友だちには、感謝の気持ちをもって接してほしいものです。

### 2 「いつでもまわりに優しさを」

- 「いつでも」「明るく」「相手より先に」  
「元気な」あいさつを響かせる。
- ていねいで優しい言葉遣いをする。
- 相手を思いやる心を大切にする。

全校の一人一人が、しっかりと意識して生活することで、さらにより良い生活へと変化していきます。一年のまとめという気持ちを持ち、さらなる成長を目指して頑張してほしいものです。

できることを、当たり前のようにつけていくことは、自分を高めるためにも大切なことです。「当たり前のことを当たり前に」の内容は、ちょっと意識すれば必ずできることです。

## 始業式：児童代表の作文発表

～ 児童会執行部代表 井上 菜々さん ～

三学期、進級、卒業に向けて

児童会執行部 井上 菜々

全校のみなさん、おはようございます。今日は三学期スタートの日です。冬休みは充実したものになりましたか。

いよいよ、今日から三学期が始まります。今年の児童会スローガンは「光れ 滝小の星」です。三学期も一人一人が笑顔輝く学校にできるように頑張っていきたい。あわせて、二学期の生活でよかったところと改善してほしい点があります。

まず、よかったところの一つ目は、運動会、学習発表会などの行事です。二・六年生は今までに覚えたこと、学んだことを生かして去年よりもより良い発表や表現ができたと思います。一年生は初めての運動会、学習発表会でしたが、大きな声でとてもいい発表や表現ができていたと思います。

二つ目は、切り替えです。一学期の全校集会では、なかなか切り替えが出来ず、注意されてしまったこともありましたが、二学期にはそれを改善し一人一人が意識していると感じた場面が多く見られました。これらは三学期も続けていくように頑張りたいです。

次に、三学期特に意識してほしいことです。それは廊下歩行です。廊下を走っていたり階段をジャンプしていたりと危ない行動が多く見られました。怪我に繋がる可能性もあるので改善していけるようにしていきたい。一月の生活目標は、「安全に生活しよう」です。各学級・学年で取り組みを決めたと思うので、冬休み明け特に安全を意識していきたいと思います。

そして、三学期は一年のまとめの学期です。進級、卒業に向けて、次の学年を意識しながら、今の学年のまとめをしていく三学期にしましょう。



## 情報機器の使用に関わるアンケート調査の集計結果について…

昨年の11月から12月にかけて実施しました滝沢市児童生徒「情報機器の使用に関わるアンケート調査」へのご協力ありがとうございました。

今回のアンケートは、3年生以上の児童と全保護者の皆様を対象でしたので、児童は学校のタブレットを使用して回答し、保護者の皆様には、児童の状況についてスマートフォンかPC等にて回答いただきました。

その集計結果が滝沢市教育委員会より届きましたので、お知らせします。なお、全質問項目の集計結果から注目してほしい内容や課題と思われる内容を取り上げたものを表にまとめました。

現代の情報化社会に対応し、インターネットを身近なツールとして使いこなしている子ども達ですが、気になるのは利用時間と日常生活への支障です。平日でも利用時間が2時間を超えていることや、それにより「遅寝・遅起き」で集中できない等の支障が出ていることは、改善の必要がありそうです。また、ほとんどの家庭でしっかりとルールを決めて利用させていることは、とても大切であると感じました。

冬休み前にも情報端末機器利用時のルール確認をお願いしましたが、今回の集計結果をご覧になり、便利なツールとして上手に付き合っていくために、再度ご家庭で話題にしていいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【「情報機器の使用に関するアンケート」滝沢小学校集計結果】

		回答者	児童 (474人)		保護者(218人)	
		人 数	割 合	人 数	割 合	
家庭でインターネットを利用している		430	91%	188	86%	
携帯電話・スマホを利用している		364	77%	147	67%	
携帯電話・スマホは子ども専用である		216	46%	67	31%	
携帯・スマホでどんな機能を利用しているか (上位3項目)	ゲーム	273	58%	105	48%	
	音楽・動画視聴	246	52%	101	46%	
	写真・動画撮影	237	50%	80	37%	
	通話	219	46%	67	31%	
平日の使用時間	1時間未満	140	30%	88	40%	
	1時間～2時間	154	32%	59	27%	
	2時間～3時間	92	19%	46	21%	
	4時間以上	43	9%	9	4%	
情報機器利用での日常生活への支障 (上位3項目)	寝る時間が遅い	49	10%	44	20%	
	朝起きられない	67	14%	24	11%	
	授業に集中できない	38	8%			
	情報機器が手放せない			45	21%	
情報機器に「フィルタリング」している		132	28%	117	54%	
情報機器利用で家庭でのルールがある		345	73%	179	82%	
家庭でのルール	勝手に課金しない	262	55%	143	66%	
	利用時間制限	251	53%	129	59%	
	アプリDR許可制	202	43%	145	67%	
	利用場所を決めて	137	29%	104	48%	
	個人情報書き込み不可	162	34%	93	43%	